

---

## 指導計画案 更新版 (2020.5.22)

---

株式会社 教育芸術社

### 【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

#### 1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

#### 2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「楽しいマーチ」、「陽気な船長」

### 【本資料について】

・本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

### 【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. 音楽で心の輪を広げよう	扱い時数のめやす <b>4時間</b>
題材の目標	(1) 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付き、自然で無理のない歌い方や、友達とリズムを合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの重ね方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声を合わせて歌ったり手拍子のリズムを合わせたりする学習に進んで取り組み、友達と協働して音楽活動する楽しさを味わう。	
題材の意図	この題材では、これから始まる4年生の音楽の授業に、子供たちが進んで取り組むことができるようにするため、友達と声を合わせて歌ったり拍にのってリズムを打ったりする学習を展開します。 歌唱教材「花束をあなたに」は、歌詞の内容や旋律の美しさを感じ取りながら友達と思いを込めて歌います。 また、3年生までに積み重ねたリズムの学習を深めるために、常時活動として扱う「リズムでなかよくなろう」を設け、拍節感やリズム感を育てます。この活動を少しずつ積み重ねることにより、合わせて歌ったり演奏したりする技能を高めたり、リズムを中心とした音楽づくりに活かせる発想を得たりする力にもつなげていきます。 「さくら さくら」では、歌詞の表す情景を思い浮かべ、日本の音楽の雰囲気を感じ取りながら歌えるようにします。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア), ウ(ウ) (3)音楽づくりア(ア), イ(イ), ウ(ウ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム, 旋律, 拍 ・身近な音符, 休符, 記号や用語 フラット	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
① 曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ② 曲想とリズムや拍との関わりについて気付き、友達とリズムを合わせて手拍子で打つ技能を身に付けて演奏している。 ③ 歌詞の発音や呼吸の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	① 歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ② リズムや拍、音の重なりと曲想との関わりについて考え、リズムのつなげ方や重ね方を工夫し、どのようにグループの手拍子の音楽を演奏するかについて思いや意図をもっている。 ③ 曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	① 曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心をもち、友達と声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ② 友達と協働して、リズムのつなげ方や重ね方を工夫して音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
思いをこめて歌いましょう。	○花束をあなたに (そだてよう)リズムでなかよくなるろう	1  2  3	●曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付く。  ●互いの歌声や副次的な旋律，伴奏を聴いて声を合わせて歌う。  ●リズムや拍を感じ取りながら，友達とリズムを合わせて手拍子で打つ。  ●リズムをつなげたり重ねたりするなど演奏の仕方を工夫して，友達とリズムを合わせて演奏する。	◆曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察，発言内容，演奏聴取】  ◆歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら，前半と後半の曲の特徴を捉えた表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 行動観察，発言内容，演奏聴取，付箋紙】 ◆曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて興味・関心を持ち，友達と声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 表情観察，行動観察，発言内容，付箋紙】  ◆曲想とリズムや拍との関わりについて気付き，友達とリズムを合わせて手拍子で打つ技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 演奏聴取】 ◆リズムや拍，音の重なりと曲想との関わりについて考え，リズムのつなげ方や重ね方を工夫し，どのようにグループの手拍子の音楽を演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察，発言内容，演奏聴取】 ◆友達と協働して，リズムのつなげ方や重ね方を工夫して音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察，発言内容，演奏聴取】
歌詞の表す様子を思いうかべながら歌いましょう。	(共)さくら さくら	4	●曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付き，発音や呼吸の仕方に気を付けて，自然で無理のない声で歌う。	◆曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考え，曲の特徴を捉えた表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 発言内容，行動観察，演奏聴取】 ◆歌詞の発音や呼吸の仕方に気を付けて，曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【技③ 演奏聴取】

題材名	2. 歌声のひびきを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		<b>7時間</b>
題材の目標	<p>(1) 旋律、音の重なり方の違い、音階や調などと曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て演奏するなど、表したい音楽表現をするために必要な表現の技能を身に付ける。</p> <p>(2) ハ長調の読譜や自然で無理のない歌い方を習得したり活用したりしながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、二重唱の演奏のよさや曲の面白さを見いだしながら聴いたりする。</p> <p>(3) 歌声による表現や旋律が重なり合う響きのよさを感じ取りながら、友達と協働して表現したり聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、3年生から始まったハ長調の楽譜の視唱や視奏に、より慣れ親しみながら、歌声のもつよさを味わう学習を展開します。</p> <p>この題材の歌唱教材はハ長調の音階でつくられていますので、復習もかねて、階名と音の高さを確認しながら、ハ長調の楽譜を見て歌うことができますようにします。「いいことありそう」は、リズムや歌詞の内容が生み出す曲想を感じ取って、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌い方を工夫する学習も合わせて進めていきましょう。</p> <p>また、鑑賞教材には、モーツァルト作曲の二重唱の楽曲を取り上げています。男声、女声のもつ歌声の特徴やよさと、それらの歌声の掛け合いや重なりが生み出す面白さを味わって聴くことができますようにします。</p> <p>「歌のにじ」や「まきばの朝」では、ハ長調の視唱や視奏の学習を重ねるとともに、リコーダーと歌声が重なる響きを感じ取って歌ったり、歌詞の言葉のまとまりやブレスの記号を参考にしたりして、フレーズを生かして歌うことができますようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(<b>ア</b>)(<b>イ</b>)(<b>ウ</b>) (2)器楽<b>ア</b>、<b>イ</b>(<b>ア</b>)、<b>ウ</b>(<b>ア</b>)(<b>イ</b>)(<b>ウ</b>) (3)音楽づくり<b>ア</b>(<b>ア</b>)、<b>イ</b>(<b>イ</b>)、<b>ウ</b>(<b>ア</b>)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア <b>音色</b>、<b>旋律</b>、音の重なり、音階、調、フレーズ イ 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係</li> <li>・音符、休符、記号や用語 付点8分音符、<b>16分</b>音符</li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想と音色、旋律、音階や調などとの関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て歌う技能、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>② 曲想やその変化と、二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方との関わりについて気付いている。</p> <p>③ 音色、旋律、フレーズ、音の重なりなどと曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>⑤ 歌詞の内容や旋律、フレーズと曲想との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方と曲想との関わりについて気付いたことを生かしながら曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き取り、重なり合う響きのよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように声や音を合わせるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 曲想と音色、旋律、音階や調などとの関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 曲想と二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方の面白さに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 歌詞の内容と旋律、フレーズとの関わりが生み出すよさを感じ取りながら、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけながら、明るい声で歌いましょう。	○いいこと ありそう	1        2	●旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。 ●長調の音階について知り、音の高さに気を付けて歌う。  ●副次的な旋律を階名唱し、鍵盤ハーモニカで演奏する。 ●主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。	◆曲想と音色、旋律、音階や調などとの関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 表情観察、行動観察】  ◆曲想と音色、旋律、音階や調などとの関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て歌う技能、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取】
2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱	3       4	●男声と女声の掛け合いを感じ取って聴く。 ●男声と女声の掛け合いや重なりに気を付けて聴く。  ●二人の歌声の掛け合いや重なるの面白さを味わって聴く。	◆曲想と二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方の面白さに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 表情観察、行動観察】  ◆曲想やその変化と、二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方との関わりについて気付いている。 【知② 行動観察、ワークシート、発言内容】 ◆二重唱の歌声の特徴、その掛け合いや重なり方と曲想との関わりについて気付いたことを生かしながら曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 行動観察、ワークシート、発言内容】
リコーダーと合わせて、明るい声で歌いましょう。	○◇歌のにじ ☆せんりつづくり	5      6	●旋律の特徴を感じ取りながら主な旋律を歌う。 ●旋律の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うか思いをもつ。 ●副次的な旋律を演奏する。  ●主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。 ●音の選び方を工夫して、「せんりつづくり」をする。  ●歌とリコーダーの旋律の重なり合う響きを感じ取りながら演奏する。	◆音色、旋律、フレーズ、音の重なりなどと曲想との関わりについて気付き、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技③ 演奏聴取】  ◆旋律の音のつなげ方の特徴に気付き、提示された音に基づいて、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 【知・技④ 演奏聴取、ワークシート】 ◆主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き取り、重なり合う響きのよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように声や音を合わせるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、演奏聴取】
歌詞の表す様子を思いうかべながら、のびやかな声で歌いましょう。	(共)まきばの朝	7	●歌詞の内容を理解して、情景を想像しながら歌う。 ●発声や発音、フレーズに気を付けて、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方を工夫する。	◆歌詞の内容と旋律、フレーズとの関わりが生み出すよさを感じ取りながら、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆歌詞の内容や旋律、フレーズと曲想との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技⑤ 演奏聴取】

題材名	3. いろいろなリズムを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		<b>8時間</b>
題材の目標	<p>(1) 拍子やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、拍にのって歌ったり演奏したりする技能や、反復や変化などの音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲の特徴を捉えた表現や、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 拍子やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してリズムアンサンブルをつくったりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、これまでに身に付けてきた拍や拍子、リズムに対する感覚やそれを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>拍子としては、3年生で学習した4分の2拍子、4分の3拍子、4分の4拍子に加えて、新たに8分の6拍子でできた教材を取り上げています。</p> <p>また、手拍子のアンサンブルからなる器楽教材では、拍にのって表現することの楽しさを感じ取りながら、互いのパートの音を聴きながら演奏する力を伸ばすようにします。ギロやクラベスなどの特徴的なリズム伴奏と合わせて歌う楽しさを味わったり、音楽の仕組みを生かしながら4文字の言葉のリズムを組み合わせて言葉によるリズムアンサンブルをつくったりする学習を通して、拍子やリズムによって曲想が異なることに気付いて、表現を工夫することができるようにします。</p> <p>拍を感じながら、拍子やリズムにのって表現を工夫する学習は、友達と心を合わせて合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。</p> <p>子供たちが歌詞の内容や曲想から感じ取ったり想像したりしたことと関連付けながら、基礎的な表現の能力を伸ばしていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(イ)(ウ) (2)器楽<b>ア</b>、<b>イ</b>(ア)(イ)、<b>ウ</b>(イ)(ウ) (3)音楽づくり<b>ア</b>(ア)(イ)、<b>イ</b>(ア)(イ)、<b>ウ</b>(ア)(イ)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、<b>リズム</b>、旋律、強弱、音の重なり、<b>拍</b>、フレーズ イ 反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係</li> <li>・音符、休符、記号や用語 8分の6拍子、メゾピアノ、メゾフォルテ、フォルテ、クレシェンド、デクレシェンド、くり返し記号</li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想と8分の6拍子の特徴との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>② 曲想とリズムや拍、呼びかけとこたえなどとの関わりについて気付いている。</p> <p>③ 互いの手拍子のリズムや鍵盤ハーモニカの旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 曲想やその変化と、打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて気付いている。</p> <p>⑤ 言葉のリズムのつなげ方や重ね方のよさや面白さに気付き、反復、呼びかけとこたえ、変化を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>① 8分の6拍子の特徴、旋律やフレーズ、強弱の変化と曲想との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② リズム、拍、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ 曲想と打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて考え、リズムの特徴や面白さ、打楽器の音色を生かした表現を工夫し、どのように打楽器を演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>④ 言葉のリズム、反復、呼びかけとこたえや変化が生み出すよさや面白さを生かし、リズムのつなげ方や重ね方を工夫して、どのようにまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 曲想と8分の6拍子の特徴との関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 拍にのり、友達と気持ちを合わせながら手拍子のリズムを演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ ラテン打楽器のリズムの特徴に興味・関心を持ち、拍にのって声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 言葉のリズムやその組合せに興味・関心を持ち、友達とリズムアンサンブルをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
6拍子を感じながら歌いましょう。	○風のメロディー	1  2	●曲想をつかみ、8分の6拍子の特徴を感じ取る。 ●8分の6拍子の特徴を感じ取りながら歌う。  ●旋律の音の動きを感じ取り、拍にのって歌う。  ●強弱記号を知り、歌い方を工夫する。	◆曲想と8分の6拍子の特徴との関わりについて興味・関心を持ち、拍にのって声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 発言内容】  ◆曲想と8分の6拍子の特徴との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取, 発言内容】 ◆8分の6拍子の特徴、旋律やフレーズ、強弱の変化と曲想との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容】
手拍子のリズムを重ねてえんそうしましょう。	◇クラッピング ファンタジー 第7番 楽しいマーチ	3  4	●反復や呼びかけとこたえのリズムの面白さを感じ取りながら手拍子のリズムを演奏する。  ●友達と音を合わせながら、手拍子のリズムと鍵盤ハーモニカの旋律を合わせて演奏する。	◆拍にのり、友達と気持ちを合わせながら手拍子のリズムを演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】 ◆曲想とリズムや拍、呼びかけとこたえなどの関わりについて気付いている。 【知② 発言内容, 行動観察】  ◆リズム、拍、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように音を合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取, 発言内容】 ◆互いの手拍子のリズムや鍵盤ハーモニカの旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 演奏聴取】
拍にのって、歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	○◇いろんな木の实 ♪ピーナッツ ベンダー	5  6	●打楽器のリズムの面白さを感じ取って歌ったり、リズムを演奏したりする。  ●打楽器の音色やリズムの特徴を感じ取って聴く。  ●歌と打楽器のリズムを合わせて、拍にのって演奏する。	◆ラテン打楽器のリズムの特徴に興味・関心を持ち、拍にのって声や音を合わせて表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 行動観察】  ◆曲想やその変化と、打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて気付いている。 【知④ 行動観察, 発言内容】 ◆曲想と打楽器の音色やリズム、音の重なりとの関わりについて考え、リズムの特徴や面白さ、打楽器の音色を生かした表現を工夫し、どのように打楽器を演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 演奏聴取, 発言内容】
くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆言葉でリズムアンサンブル	7  8	●4文字の言葉のリズムを拡大したり縮小したりして、リズムをつくる。 ●二つのパートに分かれ、反復、呼びかけとこたえ、変化を使って、8小節のリズムアンサンブルをつくる。  ●リズムのつなげ方や重ね方を工夫して、グループのリズムアンサンブルをつくる。	◆言葉のリズムやその組合せに興味・関心を持ち、友達とリズムアンサンブルをつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【態④ 行動観察, 発言内容】  ◆言葉のリズム、反復、呼びかけとこたえや変化が生み出すよさや面白さを生かし、リズムのつなげ方や重ね方を工夫して、どのようにまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表④ 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】 ◆言葉のリズムのつなげ方や重ね方のよさや面白さに気付き、反復、呼びかけとこたえ、変化を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 【知・技⑤ 演奏聴取】

題材名	4. ちいきにつたわる音楽に親しもう	扱い時数のめやす <b>3時間</b>
題材の目標	(1) 日本の民謡の歌声や楽器の音色，旋律と曲想との関わりについて気付く。 (2) 音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら，日本の民謡を味わって聴く。 (3) 日本の民謡の特徴やよさを味わって聴いたり，地域に伝わる音楽を調べたりして，日本の民謡や地域に伝わる音楽への興味・関心を高める。	
題材の意図		
<p>この題材では，日本の民謡を聴いてその特徴を感じ取ったり，自分たちの地域に伝わる民謡や郷土芸能を調べたりして，郷土の音楽への興味・関心を高めていきます。</p> <p>「こきりこ」では，保存会の人々が歌う音源をまねて歌ったり，旋律の抑揚を線で表した絵譜を参考にしながら聴いたりする学習を通して，声の出し方や歌い回しに注目した鑑賞の学習を進めます。そして，使われている楽器の音色や旋律の特徴に着目した鑑賞の学習に進みます。</p> <p>「ちいきにつたわる音楽を調べよう」では，「こきりこ」で学んだことを踏まえて，自分たちが住んでいる地域などの民謡や郷土芸能を調べ，その音楽の特徴を感じ取り，より民謡や郷土芸能に親しむことができるように，調べ学習のコーナーを設けました。地域や学校の実態に応じて，教材を差し替えたり，社会科や総合的な学習の時間との連携を図ったりして，子供たちの学びや興味・関心を引き出すようにします。</p> <p>なお，第3時の取材体験では，「こきりこ」の取材体験を例示していますが，地域の民謡や郷土芸能に関わるゲストティーチャーへの取材に置き換えて活用することもできます。また，第1時・第2時の指導計画内に移動し，取り入れて学習することもできます。</p>		
学習指導要領との関連		
B鑑賞 ア，イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色，旋律		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち，アは音楽を特徴付けている要素，イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
① 歌声や楽器の音色，旋律などによる日本の民謡の特徴と曲想との関わりについて気付いている。	① 音色や旋律の特徴などを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見だし，日本の民謡を味わって聴いている。	① 音色や旋律の特徴などによる演奏のよさなどを見いだしながら聴く学習に進んで取り組もうとしている。  ② 民謡の特徴やよさを味わって聴いたり，地域に伝わる音楽を調べたりして，地域に伝わる郷土の音楽への関心を高める学習に進んで取り組もうとしている。



題材名	5. せりつのとくちょうを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		8 時間
題材の目標	<p>(1) 弾んだ感じや滑らかな感じ、音の上がり下がりなどの旋律の特徴と曲想との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方、呼吸や発音などの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律の特徴などと曲想との関わりについて考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を聴き取ったり、それらによって生まれる曲想を感じ取ったりしながら、表現と鑑賞の活動を進めていきます。これまでは音の上がり下がりが生み出す旋律の特徴を中心に学習してきましたが、それに加えて、旋律の音の動きと強弱との関わりや、スタッカートとレガートなどが生み出す旋律の特徴に気付き、それらにふさわしい表現の仕方を工夫していくようにします。</p> <p>そうした表現を工夫する中で、呼吸や発音に気を付けて歌ったり、タンギングと息の使い方に気を付けてリコーダーを演奏したりする技能も身に付けていくようにします。</p> <p>また、鑑賞では、聴き取り感じ取った旋律の特徴や曲想を言葉で表すなどして、それを友達と共有し合いながら、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴くことができるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (1) 歌唱 <b>ア</b>, <b>イ</b>, <b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ) (2) 器楽 <b>ア</b>, <b>イ</b>(ア)(イ), <b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B 鑑賞 <b>ア</b>, <b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色, リズム, 速度, <b>旋律</b>, 強弱</li> <li>イ 呼びかけとこたえ</li> </ul> </li> <li>・音符, 休符, 記号や用語                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッカート, ピアノ</li> </ul> </li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方に気を付けて演奏する技能や、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>② 曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>④ 曲想と旋律の特徴や速度との関わりについて気付いている。</p>	<p>① 曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 旋律の特徴や速度、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>③ 曲想と旋律の呼びかけとこたえ、強弱の変化などとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、重なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考えながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 曲想やその変化と、旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 曲想と旋律の音の上がり下がりの特徴、強弱の変化などとの関わりについて考えながら、強弱を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつのとくちょうに合ったふき方でえんそうしましょう。	◇陽気な船長	1    2	●旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取る。 ●旋律の特徴を生かして演奏する。  ●重なり合う音色の響きを感じ取ってリコーダー二重奏をする。  ●互いの表現を聴き合い、曲想にふさわしい演奏のよさを感じ取る。	◆曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて気付き、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方に気を付けて演奏する技能や、ハ長調の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏聴取】  ◆曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、重なり合う音色の響きに気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 演奏観察】 ◆曲想とスタッカートやレガートなどの旋律の特徴との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, 行動観察】
せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	○ゆかいに歩けば	3    4	●旋律の特徴を感じ取って、主な旋律を歌う。   ●旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。  ●旋律の特徴を生かして二部合唱をする。	◆曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて考えながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 表情観察, 行動観察】  ◆曲想とスタッカートやレガート、音の上がり下がりなどの旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付き、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏聴取, 発言内容】  ◆互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技③ 演奏聴取】
せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。	♪白鳥／堂々たるライオンの行進	5    6	●「白鳥」の旋律の音の動きを感じ取る。  ●「白鳥」の旋律の特徴を感じ取って聴き、言葉などで表す。  ●「堂々たるライオンの行進」の旋律の特徴を感じ取って聴く。 ●曲や演奏のよさに気付いて聴く。	◆曲想やその変化と、旋律の特徴との関わりについて興味・関心をもち、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 表情観察, 行動観察】  ◆曲想と旋律の特徴や速度との関わりについて気付いている。 【知④ 発言内容, 行動観察】  ◆旋律の特徴や速度、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表② ワークシート, 発言内容】
せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	(共)とんび	7    8	●歌詞の表す情景を想像しながら歌い、旋律の特徴に気付く。 ●旋律の音の動きに合う強弱を工夫して歌う。  ●歌詞の内容や旋律の特徴に合う強弱を工夫して歌う。	◆曲想と旋律の音の上がり下がりの特徴、強弱の変化などとの関わりについて考えながら、強弱を工夫して歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態④ 表情観察, 演奏観察】  ◆曲想と旋律の呼びかけとこたえ、強弱の変化などとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 演奏聴取, 行動観察, ワークシート】

題材名	6. せんりつの重なりを感じ取ろう	扱い時数のめやす <b>8時間</b>
題材の目標	(1) 旋律の特徴や重なりなどと曲想との関わりについて気付き、それらを生かして歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律の特徴や重なり方による曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったり、旋律の重なり、反復や変化が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりする。 (3) 友達と一緒に声や音を合わせて表現を工夫したり、旋律が重なり合う面白さを感じて聴いたりする学習を通して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わう。	
題材の意図	この題材では、自分や友達の歌声、あるいは楽器の音を聴き合いながら、みんなで声や音を合わせて演奏する能力をさらに伸ばして、旋律が重なり合うきれいな響きを味わうことができるように学習を進めていきます。 前半と後半の旋律を重ねて歌うことができる歌唱教材と、異なる特徴をもつ旋律の重なり合いや掛け合いを楽しむことができる鑑賞教材を取り上げ、表現と鑑賞を関連させながら旋律の重なり合う面白さに注目して、旋律の反復や重なりが生み出す曲想を味わい、それを生かして曲の構造に気を付けて音楽を聴くことができるようにします。 リコーダーのサミングを用いる器楽教材では、旋律の重なりが生み出す響きの美しさを味わうことを起点にして、二部合奏の楽しさに気付くことができるようにします。 歌唱共通教材の「もみじ」は、言葉の美しさに気付いたり情景を思い浮かべたりしながら歌う学習も大切に取り上げつつ、本格的な二部合唱の導入としても扱い、旋律の重なり方の特徴や違いにも注目しながら、互いの声を聴き合って歌うことができるようにします。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, <b>旋律</b> , <b>音の重なり</b> , フレーズ イ 音楽の縦と横との関係	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
① 曲想と旋律の特徴との関わりについて気付いている。 ② 曲想やその変化と、旋律の特徴や反復、重なりなどによる音楽の構造との関わりについて気付いている。 ③ 曲想と音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ④ 音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ⑤ 曲想と旋律の重なり方や歌詞の内容との関わりについて気付き、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	① 旋律の重なりや反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさや面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりしている。 ② 曲想と音色や旋律、音の重なりなどとの関わりについて考え、旋律の特徴や重なりを捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 ③ 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係が生み出すよさや面白さ、美しさを生かして、旋律の重なり方や歌詞の内容を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	① 旋律の特徴や重なり、反復の働きが生み出すよさや面白さを見いだして歌ったり聴いたりする活動に進んで取り組もうとしている。 ② 旋律の特徴や重なりに興味・関心を深め、友達と協働して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わって歌う学習に進んで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	○パレード ホッポー ♪ファランドール	1  2  3	●曲の感じをつかみ、旋律の特徴と曲想との関わりについて気付く。  ●旋律の特徴や反復、重なりを聴き取り、曲の構成に気付いて聴く。  ●旋律の重なりや反復が生み出す面白さを感じ取って、歌ったり聴いたりする。	◆曲想と旋律の特徴との関わりについて気付いている。 【知① 表情観察, 演奏聴取, 発言内容, 記述内容】  ◆曲想やその変化と、旋律の特徴や反復、重なりなどによる音楽の構造との関わりについて気付いている。 【知② 表情観察, 発言内容, 記述内容】  ◆旋律の重なりや反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさや面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりしている。 【思・判・表① 発言内容, 記述内容, 演奏聴取】 ◆旋律の特徴や重なり、反復の働きが生み出すよさや面白さを見い出して歌ったり聴いたりする活動に進んで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 発言内容, 記述内容】
せんりつが重なり合う美しさを感じてえんそうしましょう。	◇オーラ リー	4  5	●旋律の特徴を感じ取りながら、主な旋律を歌ったり演奏したりする。  ●二部合奏や二重奏をして、旋律が重なり合う響きのよさや美しさを感じ取る。	◆曲想と音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 【知③ 演奏聴取, 表情観察, 発言内容】  ◆曲想と音色や旋律、音の重なりなどとの関わりについて考え、旋律の特徴や重なりを捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, 表情観察, 演奏聴取】 ◆音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技④ 演奏聴取】
声が重なり合う美しさを感じて歌いましょう。	(共)もみじ	6 7  8	●歌詞の表す情景を想像し、主な旋律と副次的な旋律を歌う。 ●旋律の重なり方の特徴に気付き、二部合唱する。  ●各グループの演奏を聴き合い、よりよい二部合唱になるように表現を工夫する。	◆曲想と旋律の重なり方や歌詞の内容との関わりについて気付き、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技⑤ 演奏聴取, 発言内容, 表情観察】  ◆旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係が生み出すよさや面白さ、美しさを生かして、旋律の重なり方や歌詞の内容を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 発言内容, 演奏聴取, 記述内容】 ◆旋律の特徴や重なりに興味・関心を深め、友達と協働して、旋律の重なりが生み出すよさや面白さ、美しさを味わって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 表情観察, 演奏聴取】

題材名	7. いろいろな音のひびきを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		<b>7 時間</b>
題材の目標	<p>(1) 楽器の音色や旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の組合せや音の重なり方を生かして音楽をつくる技能や、音色や各パートの音のバランスに気を付けて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音色や旋律の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら味わって聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いた音楽のつくり方について、思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったり、音色やパートの重なりを生かして互いの音を聴き合って演奏したり、音色や旋律の特徴による曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>本題材では、音色を中心に音の重なりや音楽の仕組みとの関わりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めていきます。特に、材質による音の特徴を捉えて音の組合せを工夫して音楽をつくったり、その響きの違いを生かしながら自分なりの発想をもって表現したりする学習を体験します。</p> <p>4年生の中心的な合奏教材である「茶色の小びん」では、いろいろな楽器の音が重なる豊かな響きを味わいつつ、パート間の音量のバランスに配慮しながら演奏する活動を通して、互いの音を聴き合って演奏することの喜びを味わうようにします。ここでは、音色に関わる学習の一環として、鉄琴や木琴に使うマレット選びの工夫も考えることができます。</p> <p>鑑賞では、3年生で金管楽器の音楽に親しんだ学習経験を踏まえ、ここでは木管楽器がもっている固有の音の美しさを味わいながら聴く活動を進めます。4年生なりの音楽的な理由を伴いながら、曲や演奏のよさを見いだし聴くことができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (2) 器楽 <b>ア</b>, <b>イ</b> (7) (イ), <b>ウ</b> (7) (イ) (ウ)</p> <p>(3) 音楽づくり <b>ア</b> (7) (イ), <b>イ</b> (7) (イ), <b>ウ</b> (7) (イ)</p> <p>B 鑑賞 <b>ア</b>, <b>イ</b></p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ア</b> 音色, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍</li> <li><b>イ</b> 音楽の縦と横との関係</li> </ul> </li> <li>・音符, 休符, 記号や用語</li> </ul> <p>シャープ</p>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能 (知・技)	思考・判断・表現 (思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
<p>① 打楽器の音色や組合せの特徴、構成の仕方が生み出す面白さに気付き、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の縦と横との関係など音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>② 曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>③ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 木管楽器の音色や響きと曲想との関わりについて気付いている。</p>	<p>① 音色、強弱、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、いろいろな音の組合せを即興的に表現し、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 楽器の音色の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ 楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりについて気付いたことを生かして、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>① 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴を生かし、即興的に音で表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 楽器の音色を生かして演奏したり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いたりして、音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 木管楽器の音色や響きに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆打楽器の音楽	1  2  3	●音の様子を図形で表したカードを使い、音の出し方を工夫する。  ●打楽器の音の組合せ、音の重ね方、反復などを生かして、三人一組で音楽をつくる。  ●「始め」「中」「終わり」の音楽の構成を意識して、まとまりのある音楽をつくる。	◆打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴を生かし、即興的に音で表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏聴取】  ◆音色、強弱、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、いろいろな音の組合せを即興的に表現し、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 行動観察, 発言内容, 演奏聴取, カード】  ◆打楽器の音色や組合せの特徴、構成の仕方が生み出す面白さに気付き、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の縦と横との関係など音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 【知・技① 行動観察, 発言内容, 演奏聴取, カード】
ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	◇茶色の小びん	4  5  6	●拍にのって主な旋律を演奏する。  ●パートの特徴を知り、音色に気を付けて合奏する。  ●各パートの音量のバランスや響きに気を付けて演奏する。	◆曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 【知② 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】  ◆楽器の音色の特徴や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】  ◆音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 演奏聴取, 行動観察】 ◆楽器の音色を生かして演奏したり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いたりして、音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 発言内容, ワークシート, 演奏聴取】
フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。	♪メヌエット／クラリネット ポルカ	7	●木管楽器について知り、音色に親しむ。  ●フルートとクラリネットの音色のよさや旋律の特徴を感じ取って聴く。	◆木管楽器の音色や響きと曲想との関わりについて気付いている。 【知④ 発言内容, ワークシート】 ◆木管楽器の音色や響きに興味・関心をもち、曲や演奏のよさなどを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 行動観察, 発言内容, ワークシート】 ◆楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりについて気付いたことを生かして、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ ワークシート, 発言内容】

題材名	8. 日本の音楽でつながろう	扱い時数のめやす
		<b>5時間</b>
題材の目標	<p>(1) 日本の楽器の音色、旋律、音階などと曲想との関わりについて気付き、音色や響きに気を付けて楽器を演奏する技能や、五音音階から音を選んでまとまりのある旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 日本の楽器の音色や音楽の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、音色を生かした演奏の仕方や、旋律の音の動きや反復を生かしてどのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて、思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 日本の楽器の音楽を聴いたり演奏したり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、日本の楽器の音や音楽への興味・関心を高める。</p>	
題材の意図		
<p>学習指導要領の改訂を受けて、旋律楽器としての和楽器を中学年でも取り上げるようになりました。</p> <p>この題材では、旋律楽器としては箏を中心に取り上げ、鑑賞学習をきっかけとして、既習曲の「さくら さくら」の演奏を体験します。</p> <p>鑑賞に当たっては、箏の音色に親しみながら、三味線や三線の音色と比較鑑賞をしたり、それらの音楽や音色が生み出す雰囲気を感じ取りながら聴いたりします。鑑賞の学習を通して感じ取ったことや気付いたことを発表し合うことで、箏などの楽器がもつ音色のよさや、我が国や郷土に伝わる音楽のよさなどをあらためて見直す機会にするとよいでしょう。</p> <p>さらに、3年生でラ、下、レの三つの音を使って旋律づくりをした経験を生かし、ここでは五つの音を使いながら、ペアになって協働して旋律づくりを行います。我が国の音楽で使われている音階の音を使いながら、子供たちが様々な種類の音楽と出会い、音楽の楽しみ方を広げていくことができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (2)器楽ア, イ(イ), ウ(イ) (3)音楽づくりア(ア)(イ), イ(イ), ウ(ア)(イ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色, 旋律</li> <li>イ 反復</li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想やその変化と、箏の音色や旋律との関わりや、箏の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>②箏の演奏の仕方を知り、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③旋律のつなげ方の特徴が生み出す全体の構成のよさや面白さに気付き、反復や変化を用いて日本の音階を生かした旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。</p>	<p>①日本の楽器の音色の特徴や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②音色や響きに気を付けて、箏をどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③旋律の反復や変化によって生まれる音楽のよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①日本の楽器の音色の特徴を聴き取り、そのよさを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②箏の音色や響きに興味・関心を持ち、演奏の仕方を知り、音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③日本の音階に興味・関心を持ち、音の動きを考えて旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本の楽器に親しみましよう。	♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より ♪津軽じょんから節／ていんさぐぬ花  (チャレンジ)ことをひいてみよう	1          2          3	●箏の音色の特徴を感じ取って聴く。  ●三味線と三線の音色の特徴を感じ取って聴く。    ●箏の音色のよさや面白さを感じ取り、演奏の仕方を知る。    ●箏で「さくら さくら」の旋律を演奏する。	◆曲想やその変化と、箏の音色や旋律との関わりや、箏の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 【知① ワークシート、発言内容】 ◆日本の楽器の音色の特徴を聴き取り、そのよさを味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態① ワークシート、発言内容、表情観察】 ◆日本の楽器の音色の特徴や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① ワークシート、発言内容】  ◆箏の音色や響きに興味・関心を持ち、演奏の仕方を知り、音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 表情観察、行動観察、演奏聴取】 ◆音色や響きに気を付けて、箏をどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 演奏聴取、ワークシート】  ◆箏の演奏の仕方を知り、音色や響きに気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技② 演奏聴取】
5つの音で、せんりつをつくりましよう。	☆2人でせんりつづくり	4          5	●旋律のつくり方を知り、自分の旋律をつくる。    ●二人で旋律をつなげて8小節の旋律をつくる。	◆日本の音階に興味・関心を持ち、音の動きを考えて旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 発言内容、演奏聴取、ワークシート】  ◆旋律の反復や変化によって生まれる音楽のよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 発言内容、演奏聴取、ワークシート】 ◆旋律のつなげ方の特徴が生み出す全体の構成のよさや面白さに気付き、反復や変化を用いて日本の音階を生かした旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 演奏聴取】

題材名	9. 曲の気分を感じ取ろう	扱い時数のめやす
		<b>7時間</b>
題材の目標	<p>(1) 曲想と歌詞の内容、速度、旋律、強弱などとの関わりについて気付き、それらを生かした歌い方や、互いの音を聴きながら合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲想と速度、旋律、強弱などとの関わりについて考え、曲想にふさわしい表現の仕方について思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方を工夫したり、互いの音を聴き合いながら演奏したり、音楽が表す情景を想像豊かに聴いたりする学習に進んで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>教科書上では、「曲想」という言葉を5年生から示していますが、4年生最後のこの題材で示されている「曲の気分」は、「曲想」を4年生に分かりやすい言葉で置き換えたものになります。これまでの学習のまとめとして、音楽的な見方・考え方をより働かせて、曲想やその変化と音楽の構造の関わりに気付いて音楽表現を工夫したり、音楽を聴いたりすることができるように学習を展開します。</p> <p>表現の学習では、歌詞の内容や旋律の特徴、強弱などから気付いたことと曲想との関わりを考え、豊かな表現を工夫しながら歌ったり、互いの音を聴き合いながら気持ちを合わせて合奏したりします。また、鑑賞の学習では、曲想の変化を感じ取りやすい音楽を取り上げているため、音楽を形づくっている要素との関わりに気付いて聴くだけでなく、想像豊かに聴く喜びも味わうことができるように学習を展開します。</p> <p>5年生の音楽学習への橋渡しとなるように留意しながら、中学年の学習を締めくくりにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(ア)(イ) (2)器楽<b>ア</b>、<b>イ</b>(ア)(イ)、<b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、速度、<b>旋律</b>、強弱、音の重なり、拍</li> <li>イ 反復</li> </ul> </li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>① 曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けてリコーダーや鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 曲想と旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりや、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>⑤ 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑥ 曲想やその変化と、速度や強弱などによる音楽の構造との関わりについて気付いている。</p>	<p>① 曲想と旋律の特徴、強弱や歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 合奏についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ 速度や強弱、旋律の反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>① 歌詞の内容と旋律の特徴との関わりについて興味・関心を持ち、曲想にふさわしい歌い方を工夫する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 友達と協働して、互いの音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 曲想やその変化と、音楽の構造との関わりについて興味・関心を深め、友達と協働しながら曲や演奏のよさなどを見だして曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲の気分を感じ取って歌いましょう。	○赤いやねの家	1     2	●歌詞の内容や旋律の特徴から情景を想像して、主な旋律を歌う。    ●グループで歌詞の内容や旋律の特徴に合う表現を工夫して、発表し合う。	◆歌詞の内容と旋律の特徴との関わりについて興味・関心を持ち、曲想にふさわしい歌い方を工夫する学習に進んで取り組もうとしている。 【態① 発言内容, 行動観察, ワークシート】 ◆曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 【知① ワークシート, 発言内容】  ◆曲想と旋律の特徴, 強弱や歌詞の内容との関わりについて考え, 曲の特徴を捉えた表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, ワークシート, 演奏聴取】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な, 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】
曲の気分を感じ取って合奏しましょう。	◇ジッパ ディー ドゥー ダー	3  4  5  6	●曲想や曲の構成をつかみ, 主な旋律を階名唱したり演奏したりする。  ●各声部の旋律の特徴や音の重なりを感じ取りながら合奏する。  ●各パートの旋律やリズムの特徴を生かした演奏の仕方を工夫して合奏する。  ●各パートや伴奏の音量のバランスに気を付けて, 拍にのって合奏する。	◆範奏を聴いたり, ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能や, 音色や響きに気を付けてリコーダーや鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 行動観察, 演奏聴取】  ◆曲想と旋律の特徴, 音の重なりなどとの関わりや, 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 【知④ 行動観察, ワークシート】  ◆合奏についての知識や技能を得たり生かしたりしながら, 曲の特徴を捉えた表現を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, 行動観察, 演奏聴取】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な, 互いの楽器の音や副次的な旋律, 伴奏を聴いて, 音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技⑤ 演奏聴取】 ◆友達と協働して, 互いの音を聴き合いながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 発言内容, ワークシート】
音楽が表している様子を思いうかべながらききましよう。	♪山の魔王の宮殿にて ♪朝の気分 ※「朝の気分」は, 学習内容の進行や子供の実態に応じて取り上げる。	7	●曲想やその変化と, 強弱や速度などとの関わりについて気付いて聴く。  ●曲の特徴や曲想の変化を感じ取り, 曲全体を味わって聴く。	◆曲想やその変化と, 速度や強弱などによる音楽の構造との関わりについて気付いている。 【知⑥ 発言内容, ワークシート, 行動観察】 ◆曲想やその変化と, 音楽の構造との関わりについて興味・関心を深め, 友達と協働しながら曲や演奏のよさなどを見いだして曲全体を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【態③ 発言内容, ワークシート, 行動観察】 ◆速度や強弱, 旋律の反復などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさなどを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ ワークシート, 発言内容】